



# 食

食 ~しよくい~ 育

## 七の膳

# 学校の食育で中心的な役割を担う

栄養教諭



総社小学校で給食指導中の中田栄養教諭。配膳の仕方や食べ方、元気な体を作る食べものなどについて話した。子どもたちからの、はしやメニューなどについての質問にも丁寧に答えていた

## 旬のもの

柿の実は秋の景色を彩る。しじふ柿は、干し柿となつて、正月料理のなかに並ぶ



「栄養教諭」。小・中学校の食育の中心的な役割を担い、給食の管理と食の指導を一体的に行う教諭のことです。平成17年4月に制度化され、総社市では今年4月から、総社東学校給食共同調理場に1人配置しています。この調理場では、小学校8校と中学校2校の約5000食(1日分)の給食を調理。栄養教諭は、この献立づくりや衛生管理などに携わります。食の指導では、給食や家庭科の時間に直接、子どもたちに食の大切さや献立の意味を話します。このほか、肥満、過度のやせ、偏食、食物アレルギーなどの個別相談や指導、学校全体の指導計画の作成にも取り組んでいます。また、学校給食便りなどでの家庭への働きかけや、地域の生産者の皆さんと連携した体験学習などにも取り組んでいます。これらはいずれも、子どもたちに正しい食の知識と望ましい食習慣を子どもたちに身に付けてもらうこととしてのことです。食についての相談や知りたいことがあれば、気軽にご連絡ください。



※ 総社東学校給食共同調理場 (☎02616)

◎割り箸の使用は控え、マイ箸を使うようにしましょう。

## 地域づくりは自分たちの手で

～山手・地域づくり協議会～

山手地域づくり協議会は、現在の広報紙である『ほほえみ』の第2号を10月中旬に発行しようと編集作業中です。この広報紙『ほほえみ』(写真)は今年3月に創刊。行事や話題などの写真を多く使い、住民の皆さんの笑顔があふれる明るい紙面になっています。

山手地区では以前、山手コミュニティ協議会が発行していたコミュニティ紙『ふれあい』が平成18年3月廃刊になってしまった。しかし、やはり山手地区のみのコミュニティ紙が必要だという地域住民の声に呼応して、山手地区の地域づくりの実行組織である山手地域づくり協議会が、広報紙『ほほえみ』を編集・発行しています。



広報紙『ほほえみ』の創刊号。笑顔がいっぱいある紙面づくりになっている

づくりの中心として活動しています。会長の青木康さん(西坂台)は、「地域内の連携と協力を図りながら、地域づくりでほほえみの和を広げたい」と話しています。先月号でも紹介した「まちづくり協議会」。これは、市の条例に基づいて設置されている合併後のまちづくりを考え、市長に意見を述べる会です。山手まちづくり協議会とともに、山手地区の皆さんの地域に寄せる熱い思いと活動は、確かな広がりをもって進んでいます。

詳しいことは、山手支所 (☎021241) まで

協働のまちづくり!  
現場から

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

### 市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に  
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び  
明るい家庭をぎざぎざしましょう。
- 1 たがいに助け合い  
あたたかいまちをつくりましょう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ